

あるってくるぶニュース

NO. 12 1999.11.10

『あるってくるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるってくるぶ』(Arte club) の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります

① あるってくるぶギャラリー

—活動のご報告—

◇根岸 和弘展『土を織る—形象のプロセス』

1999年10月21日～31日

初秋、ゲストは『土を織る—形象のプロセス』の根岸さんでした。ケント紙の上に粘土を手で塗り、細く裂いた後、織り上げ、部分的に原色を置いたり、浮かしたり、砥の粉が流れたりした作品は、繰り返し編み込まれ偶然に表出した画面に根岸流のアクセントを散りばめたもので、自然の何かを眺めているような感覚に陥ってしまいました。最近のアルミやステンレスの板を細く切って編み込んだ作品はライトを受けて、キラキラと輝き、また違う根岸ワールドの展開がみられ、私達は次のプロセスを楽しみにしたいと思います。



あるってくるぶ 組曲

高橋道弘

9、里山しの笛コンサート

小野さゆり、宮武花野子、右城真 '99.6.20(日)

5月6日から16日まで、川越、三番町ギャラリーで
大高取山写真展。

川越の庭樹を愛する方々、

富士見市の伝統を守る方も集った。

越生の上野のほたるの里の虚空蔵尊に、

花も葉も鳥も集った。

しの笛のわらべうたに、

越生の人も飯能の人も東京の人も集った。

どこの里にも生えている女竹で作られたというしの笛ざるやかご、

土かべの芯にも使われるしの竹と呼ばれる筐。

紅シジミが舞い、氷河期からの生き残りスジ白蝶が
とびかう森、大高取山山群。

シイの木の根本から泉がわき、

柳田川、越辺川となるイノシシの森。

むささびがねぼけて昼ねむり、

モモンガアとほたるがとびかう

いたちと山童が住む森に、

沖縄から地中を来たキジムナーもいる。②

①

—これからのスケジュール—

◆アルテクループ企画展

和田 章展『陶』1999年11月18日～28日の木金土日

18日(木)夕方5時からのオープニングパーティではギターの演奏があります。

➡ 作家プロフィール

'68第3回毎日美術コンクール／'69第9回現代日本美術展／'74第2回久留米野外彫刻展／'76第3回神戸須磨離宮公園現代彫刻展／'79アート・ナウ／'80野外彫刻エスキースとその実際／'85第1回土反展・以後毎回／'87可変空間展／'88第12回日本国際美術展／'91クレイ・ワーク展／'92野外の表現コンセプト展／'93第40回陶彫展・以後毎回／'97国際文化交流ソサイアティー15周年記念展／'98陶芸グループ展／コレクション・神奈川県立近代美術館、群馬県立近代美術館

◆ たべ けんぞう展『立体』 1999年12月9日～19日
楽しくて、ちょっと悲しいクリスマスの展示です！

①

◆ お知らせです

☆吉永源太「白い記憶展」1999年11月7日～13日

12:00～19:00 三番町ギャラリーにて

平面、立体、音の展示です。白くて、ふわふわの、もごもごしたモノタチが居ます。

☆矢口 峰子展「毛織物」 1999年12月2日～7日

12:00～19:00 三番町ギャラリーにて

心まで温かくなるような手織りのウールです。

☆C・A・F展

コンテンツポラリー・アート・フェスティバルのご案内

1999年11月3日～14日埼玉県立近代美術館

午前10時から午後5時30分

「会場は中村誠ディレクターの構想に基づき作品が展示され、大変見やすく構成されている。それはあたかもアートの森の森林浴、あるいはミステリーソリューションに読み耽っているかのような気分で、楽しく会場をまわれる。」

埼玉新聞 1999.10.29 小野寺優元(C・A・F事務局長)

(1)

あるってくるぶ ワークショップ

—活動のご報告—

川越の河岸問屋・見学会

・10月15日(金)

新河岸の河岸問屋「伊勢安」が壊される！

伝統技法研究会よりお知らせがあり、急きよ見学に行ってきました。荒牧さん(川越市役所)によると、川越で河岸問屋の面影が残っていたのはここだけで、文書類は市の指定文化財になっているそうです。この建物は「アルテクラブ」にとどても思い出のある場所で今年6月、ギャラリーでインスタレーションの展示をした藤井龍徳さんが「フリソソグモノ」を記したタタキがありました。

■アルテ クルブ・トレッキング

・11月6日(土)快晴、参加者6名

大東植物友の会の高橋さんは川越より自転車で参加されました。もちろん登山口からは私達と歩きましたが、登山口から妻坂峠まで40分、雑木林の中の少し急な上りでしたが、名栗川の源流の一つである沢の水はとってもおいしかったー。町では今年の紅葉は2週間ぐらい遅れていて、しかも紅葉しないで枯葉になってしまったのを見ていきましたが、峠から上はさすがに見事な紅葉が見られ、南斜面はやはり植林地帯ですが、北斜面には雑木林が広がり、アカシデ、コナラ、ブナ、ヤマザクラなどの大木が多く見られました。雑木林の灰色に霞んだ木立の向こうに鮮やかなウチワカエデの赤が浮かび、黄の多い紅葉の中に彩りを添えていました。武川岳の頂上は北に武甲山から秩父市街を望み、南には蕨山、有間山の峰々、遠く雲取山が眺められました。開けて明るい山頂です。ここからは、予定を変更して、前武川岳より山伏峠に下りましたが、広葉落葉樹の大木が多く、植林地帯も枝打ちがされ、地面に積もった葉でクッションが良く効いている歩きやすい山道で心身共に贅沢な時間を過して自然に感謝！感謝！の1日でした。

あるってくるぶ コンサート

—活動のご報告—

♪・<アイリッシュ・ハープ>

根岸和弘展オープニング・コンサート！10月21日
アイリッシュ・ハープの永山友美子さんの演奏がありました。永山さんは武蔵野音楽大学卒業後、子ども向けのオペレッタ作家として活躍されていますが、たくさんの方がハープという楽器を知って、親しんで欲しいという思いで、車のトランクにアイリッシュ・ハープを積んで様々な施設を飛び回っています。曲は「グリーンスリーブス」から「愛燐々」お話の楽しい方で、肩の凝らない演奏会でした。

(2)

—これからのスケジュール—

□会場担当ボランティアを募集します！

「あるってくるぶ」はボランティアが自主的に参加して、様々な芸術活動やまちづくり運動を支援している会です。そのなかに会員の1人々がギャラリーのオーナーになる日があります。あなたもそんな支援者として、作家と時間を共有し、新しい自分を発見してみませんか？

	18日	19日	20日	21日
12時～				
16時～19時				
	25日	26日	27日	28日
12時～				
16時～19時				

会場担当者は時間が拘束されます。参加された方には薄謝の他、ポイントを差し上げたいと思います。年末のプレゼントをプレゼントをお楽しみに！
参加を希望される方は草野までご連絡下さい。

□「パラソル・ショップ」のお知らせです！

『越生町・緑とせせらぎを守る会の方々が栽培している、無農薬・有機栽培の野菜を販売します。

11月28日(日) 12:00～14:00
三番町ギャラリー・テラスにて

売上は、守る会にカンパしています。

・県立公園「越生さくらの郷」計画は今のところ計画見合わせで、調査のための問い合わせが守る会にあり、県の職員と共に現場を確認していると言うお知らせがありました。

☆「稻藁で草鞋を作ろうワークショップ」を計画中です。「まち」の方々、荒藁を縫って草鞋を作りませんか？歩きには持つて来いですよ！

予定が決まりましたらご案内します。

□建築見学会のお知らせ

川越 広済寺金毘羅堂解体修理現場見学会

日時 1999年11月29日(月)午後1時30分より

場所 川越市喜多町5-1

詳細は同封のお知らせをご覧下さい。自由参加です。

—これからのスケジュール—

♪<セルヒオ・レストレポ ギターリサイタル>

—和田 章展 オープニングコンサート—

1999年11月18日(木)夕方5時半より ・無料です

三番町ギャラリーにて

演奏：セルヒオ・レストレポ

コロンビアより日本に留学している学生ですが、母国の音楽学校でギターを習得し、現在東京芸大で作曲を学んでいます。金髪の少年が武満を弾いてくれるというので楽しみです。

・プログラムなど詳細は同封のお知らせをご覧下さい。

*当日スペイン語の通訳ボランティアを募集しています。

お問い合わせは雑用係の草野まで



10月15日(金) 川越・新河岸

河岸間屋「伊勢安」の店前にて

川越・蔵の会と伝統技法研究会の皆さんと

□ 新河岸の河岸場後付近

新河岸川の舟運は、江戸と川越を結ぶ重要な物資輸送路として、江戸時代初期に開設された。旭橋を中心とした上・下新河岸、扇河岸、牛子河岸、寺尾河岸は川越5河岸と呼ばれ、最盛期には30軒の河岸間屋を数えたといわれる。これらの開設にはいずれも川越藩が深く関係しており、江戸と川越を結ぶ輸送路の確保をいかに重要視していたかが分かる。現在は、明治3年造の伊勢安の店構えや周辺にいくつか残る倉庫蔵に、往時の景観をしのぶことができる。

—100 Selections from Kawagoe Landscape より



10月21日(木)

根岸和弘展オープニングパーティー

アイリッシュ・ハープに聞き入る皆さん
後ろに見えるのは、ギャラリーを訪れた
人も参加する作品「結ぶ」。毎日いろんな
人が紐を結び、あっちとこっちが繋がれ、
これからどんなふうに発展していくのか
どこかの会場で出会うかもしれません。



10月21日(木)

根岸和弘展オープニング・パーティー

アイリッシュ・ハープの永山友美子さん
のお話し。



10月21日(木)

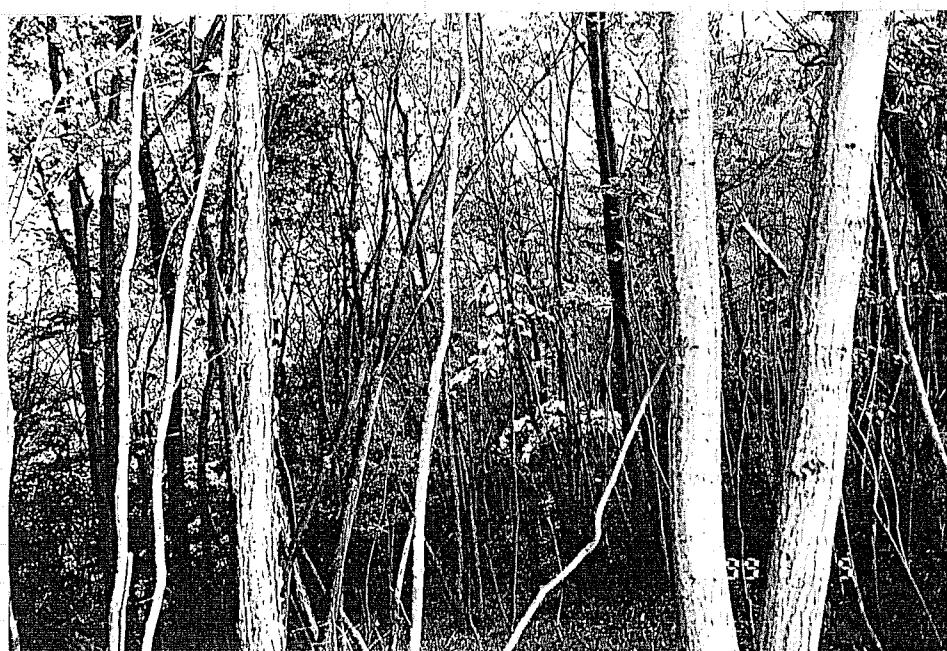
根岸和弘展オーブニング・パーティー
アイリッシュ・ハープを永山さんと弾く根岸さんです。



11月6日(土)

<アルテクラブ・トレッキング>
名栗村・名郷～山中～妻坂峠～
武川岳～前武川岳～山伏峠～名郷
越生町・緑とせせらぎを守る会の
俵木さんの情報により妻坂峠の上
にミズナラがある、というので見
に行きましたが、私達には見分け
がつきませんでした。がっかり。
紅葉はここまで来るとさすがで、
途中振り返ると、手に取るような
位置にある大持山は、黄色、赤、
茶、緑と錦綾なす山肌を見せて
いました。

参加者・高橋道弘、井手籠重夫、
渡辺悟、千葉清張、草野光廣、
草野律子



11月6日(土) 名栗村武川岳登山道
尾根沿いの雑木林